

La Belle assemblée (ラ・ベル・アッサンブレ)

London : J. Bell , 1806—1851

Hiler p.78 Colas 289 Lipper.4596



創刊号（1806年）扉

1806年にイギリスのジョン・ベル（John Bell 1745—1831）により創刊された本誌は、優れた初期ファッション誌の一つに挙げられている。

ジョン・ベルは18世紀末から19世紀初期にかけてのイギリス出版界の重鎮で、良書の出版を多く手掛け、印刷業や本屋を営み、ジャーナリストとしても活躍した人物である。彼は数種の新聞・雑誌を刊行するが、なかでも著名なものに1796年に創刊した「ベルズ・ウィークリー・メッセンジャー」という日曜新聞がある。これはイギリスの政治・経済に重点をおいた新聞であるが、フランスに特派員を送り、フランスの様々なニュースを取材した当時のフランスを知る数少ない貴重な情報源として知られている。

イギリスでは、最初のファッション誌といわれる「ザ・レディス・マガジン」が1770年に創刊されていた。ベルは1787年に「The world, or, Fashionable gazette」を発刊。豊かな感性とファッションへの理解から生まれたこの雑誌は多くの読者を獲得したが、読者がモードに強い関心を寄せていることを察知し、「ザ・レディス・マガジン」

を上回る質の高いファッション誌を創ることに力を注ぎ、本誌が誕生した。

創刊の辞で、ベルは「挿図やレイアウトなど誌面での新しい試みを施した」と述べている。印刷の技法、活字の書体などこれまでにない新風と趣味性を吹き込み、今日的な雑誌の祖型をつくった。1806年2月の創刊の扉では、そのみごとな成果を示している。当時としては、きわめて高い芸術的感覚を示し、創世記のファッションブックのなかでも秀逸なものとして評価を得ている。特に1810年から1820年までの10年間で最も充実している。

本誌「ラ・ベル・アッサンブレ」は、月刊で発行され、内容は当時のこの種の雑誌と同様に、文学、芸術、演劇、社交界の話題を含むが、初期のものには折込み楽譜や書簡なども挿入されている。本誌のタイトルにもなっている「ラ・ベル・アッサンブレ」という欄では、ロンドンやパリのファッションと自国の流行などの記事に月2枚程度の銅版画のファッションプレートを挿入して、モード

情報を提供している。

刊行は複雑で、サブタイトルや新シリーズに名を変え、書誌の変更が多い。本館所蔵誌も購入時期が数度にわたり、初回に購入したものは、創刊から1819年まではそろいであるが、以降はダブリと欠号があり、書誌変遷は明確にはつかめない。また、文献目録により記述は異なるが、変遷はおおよそ以下のように三つに分けられる。

第1期は1806年から1824年。

La Belle assemblée, or, Bell's court and fashionable magazine : addressed particularly to the ladies. 「上品な集会、もしくはご婦人方に呼びかけるベルのいざないと社交界の雑誌」

第1期も1806年から1810年までと、New series of 1810年から1824年との2期に分けられる。

第2期は1825年から1832年。

La Belle assemblée, or, Court and fashionable magazine, containing interesting and original literature and records of the beau-monde.

サブタイトルの後部を「楽しく独創的な文芸と美しい社交界」に変えた。

第3期は1832年から1851年。

The new monthly Belle assemblée : a magazine of literature and fashion.

新シリーズに改め、「The new monthly」をタイトルに付している。

ジョン・ベルが没した1832年以降、版權を他人に譲渡して、雑誌は新体制で継承された。

本館では、「The new monthly」シリーズの1845年から1851年も所蔵している。 (平井紀子)



1806年 創刊号に掲載された最初のファッションプレート。宮廷で催された王妃の誕生祝賀会でのタウシェンド侯爵夫人の盛装